

団地における「懐かしいけど、新しい」遊び場づくりがスタート！
～移動式遊び場イベントを活用した実証実験を開催～

独立行政法人都市再生機構（以下、「UR 都市機構」）は、子どもの健やかな成長とミクストコミュニティの実現を目指し、「昭和レトロ」を感じさせるような、どこか懐かしくも新しい、誰もが使える魅力的な遊び場づくりを始めます。

近年、都市部や市街化の進んだ地域では、子どもが自由に遊べる空間や、遊びながら異年齢・多世代がふれあう機会が減少し、心身の健全な発達への影響が課題となっています。

一方で、UR 賃貸住宅（団地）の多くは、豊かで広がりのある緑や屋外空間を有していることから、子どもが健全に育つための「遊び」に関する考え方を新たに導入し、屋外空間の整備や改修を実施することとしました。

この取り組みでは、文部科学省の幼児期運動指針ガイドブックにも記載がある、身体の発達に重要とされる「基本的な動き」に着目するとともに、新たな遊具のみならず既存の遊具や地形、植栽を活用することで、自由な遊びのなかで多様な動きが経験できる遊び場づくりを目指します。

本取り組みの一環として、「移動式遊び場」による参加型イベントを以下のとおり実施予定です。

【日 時】令和4年5月29日（日） 10時30分～16時30分頃

※雨天の場合、6月5日（日）に延期

【場 所】高洲第二団地（千葉県千葉市美浜区高洲1丁目他） 団地内グラウンド

※詳細は別紙をご参照下さい

お客様に実際に遊んでいただくとともに遊び場づくりに関するご意見を頂戴する予定です。イベント等の結果をふまえ、令和5年度には高洲第二団地等で屋外空間の改修工事を予定しています。



高洲第二団地での移動式遊び場イベントの実施イメージ

こうした取り組みにより、団地での遊びをとおした子どもの健全な成長、ひいては遊びをきっかけとした多世代交流によるミクストコミュニティの形成に寄与していきます。

本件に関するお問い合わせ先

独立行政法人都市再生機構	東日本賃貸住宅本部		
	設計部	団地設計第2課	とのにし 殿西 (電話) 03-5323-4936
	総務部	総務課	うえすぎ 上杉 (電話) 03-5323-2555

<身体の発達に重要とされる「基本的な動き」について>

人間の基本的な動きは 36 種類に分類できるとされ、子どもの頃（とくに幼児期）に多く経験することが心身の発達にとって望ましいとされています。様々な遊びをすることで結果的に多様な動きを経験し、それらを獲得することができるといわれています。

https://www.mext.go.jp/component/a_menu/sports/detail/_icsFiles/afieldfile/2012/05/1/1319748_4_1.pdf（文部科学省幼児期運動指針ガイドブック）

<団地内の既存遊具について>

団地内にある遊び場（遊具）を調査したところ、多くの動きを含む自由に活発な遊びが一部の遊具で観察されました。こうした遊具や施設についても前述の観点から改めて評価を行い、積極的な活用を図っていきます。



遊び場における基本的な動きのイメージ <神代団地（東京都）>

<本件の監修者である大妻女子大学木下勇教授※のコメント>

子どもにとって、多様な動作や自由に自発的な遊びのできる環境が身近にあることは大切です。

また、コロナ禍の長期化の状況の中で、国連子ども権利委員会は子どもへの影響を考慮し、例えば、衛生対策をした上での野外活動を少なくとも1日1回はすることを提唱しています。

子どもの行動を抑制するよりも、屋外で遊ぶことができる機会や環境を安全対策と両立して可能な方法で用意していくことが求められます。子どもの発達時期は待ってけませんので。

※千葉大学名誉教授、こども環境学会副会長、日本ユニセフ協会 CFCI 委員会委員長

<本件が取り組む SDGs>



<UR 都市機構について>

UR都市機構の歩みは戦後の住宅不足解消に端を発しています。1955年から様々なステークホルダーとともに、時代時代の多様性に即し、安全・安心・快適なまちづくり・くらしづくりを通して、「人が輝く“まち”」の実現に貢献してまいりました。そしてこれからも、変化する社会課題に挑戦し続けることで皆さまにお応えし、「人が輝く“まち”」づくりに不可欠な存在でありたいと考えております。これまで培ってきた持続可能なまちづくりのノウハウをいかし、都市再生事業・賃貸住宅事業・災害復興支援・海外展開支援に全力で取り組んでまいります。

<https://www.ur-net.go.jp/>



ひろばが あそびVIVA!

Part 2!

赤ちゃんからお年よりまで
みんなでたのしくあそぼう!

たくさんのお遊び道具をつかったり
しばふで走ったりとんだりなげたりわらったり
体をいっぱい動かして元気にあそべるよ!

たかすだいにだんち ひろば
高洲第二団地の広場に
いどうしき ぼ
移動式あそび場が
やってくる!



あそびの達人
かーびーさん

こんなあそびがあるよ!

昔あそび(けん玉、
お手玉、おはじき、ベーゴマ、
メンコ、コマなど)、ハンモック、
巨大コリントキット(ビー玉ころがし)、
つみき、おまごと、ボール、
大縄、モルック、紙飛行機、紙管、
段ボール、木片、チョーク、
クレヨン、音が出るもの、
・・・などなど

こんなあそびがあるよ!



つってあそぼう!

*写真は昨年実施した
第1回の様子です

* コロナ禍でも そとあそび *

〈感染防止対策をした上で子どもの外遊びの機会を〉

コロナ禍の長期化の状況の中で、国連子ども権利委員会は子どもへの影響を考慮し、例えば、衛生対策をした上で野外活動を少なくとも1日1回はすることを提唱しています。

子どもの行動を抑制するよりも、屋外で遊ぶことができる機会や環境を安全対策と両立して可能な方法で用意していくことが求められます。

子どもの発達時期は待ってくれませんので。

* 大妻女子大学教授 木下勇

(千葉大学名誉教授、こども環境学会副会長、
日本ユニセフ協会 CFCI 委員会委員長)

2022年 5月 29日(日)

(予備日: 6月5日(日))

10:30~16:30

場所: 高洲第二団地内広場(グラウンド)

どなたでも お好きな時間にふらっとどうぞ
参加無料、当日受付(事前申込不要)です

* 小雨決行。荒天時は予備日に延期します。(予備日が荒天の場合は中止)

* 感染拡大の状況を踏まえ開催を中止する場合もございます。



UR 都市機構
Twitter



当イベントは感染対策を十分に行い実施します。
以下をはじめとした感染対策へのご協力をお願いします。
また、体調不良の際は参加を見合わせてください。
・マスクの着用 ・検温 ・参加者名簿の記入
・手指消毒の実施 ・密の回避

主催 UR 都市機構

東日本賃貸住宅本部 リノベーション設計部
リノベーション環境設計第2課

お問い合わせ TEL: 03-5323-2573
(平日: 10時~17時)

UR 賃貸住宅の今後の屋外整備において、『子供の健全な発育を促す基本的な動作を取り入れた遊び』を広場設計に反映するために、技術的な検証を行っております。移動式遊び場を通じて実際に遊びや遊び場を体験した参加者の皆様(お子さん、親御さん、住民の方々)から遊び・広場・施設に関するご意見をお聞きし、今後の広場設計の参考にさせて頂きたいと考えております。